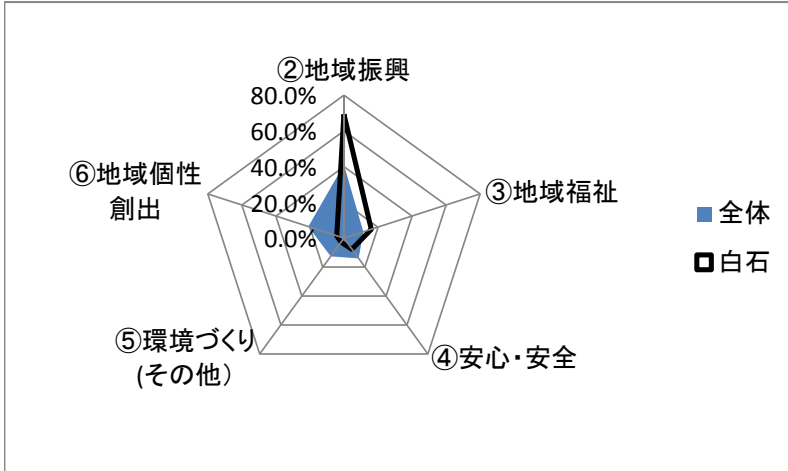


# 白石地区地域づくり協議会 地域づくり交付金事業概要(平成28年度)

## ■地域の情報

地域人口	10,526人	自治会数	39
世帯数	4,581世帯	自治会加入率	90.77%

※数値は、平成29年4月1日のもの



## ■決算状況

交付金配分枠	9,561,000 円
交付金決算額	8,815,202 円
その他収入	172,055 円
交付金決算額/配分額	92.2%

## 各分野の決算

①協議会運営	4,389,788 円
②地域振興	2,998,641 円
③地域福祉	696,853 円
④安心・安全	330,619 円
⑤環境づくり(土木工事)	270,000 円
⑤環境づくり(その他)	118,306 円
⑥地域個性創出	183,050 円
決算総額	8,987,257 円

## ■地域づくりの活動方針(テーマ)

みんなでつくる住みよいまち・白石

## ■総括

交付金の活用によって、地域課題の解決に向けた住民意識の高揚が図れ、地域づくりの協働態勢が整いつつある。

今後についても、第2次地域づくり計画に基づいて、地域課題を解決するための手段としての事業を企画し(P)、地域住民が主体となって活動し(D)、事業結果(効果)を検証し(S)、改善する仕組みを構築する(A)ために、地区住民同士が自由に話し合える場づくりに重点的に取り組む。

① 協議会運営	事務員、事務局長人件費、事務費
② 地域振興	地域づくり活動参加促進、広報事業、第2次地域づくり計画書冊子作成、「やまぐちえき」応援イベント事業、町内親睦大運動会開催支援事業、白石フェスティバル開催支援事業、町内会親睦活動支援事業、ふるさとまつり参加促進事業
③ 地域福祉	人権啓発活動推進事業、ノルディックウォーキング講習会、チャレンジ健康づくり事業、健康食のおススメ事業、グラウンドゴルフ大会開催事業
④ 安心・安全	危険防止看板設置事業、反射鏡設置事業、自主防災組織モデル事業、夏休み防災訓練キャンプ事業、安全パトロール事業
⑤ 環境づくり	法定外公共物等整備事業、五十鈴川を守る会
⑥ 地域個性創出	お宝写真展開催事業、明治維新150年記念事業

■重点的に取り組んだ事業

①	事業名	チャレンジ健康づくり事業	決算額	520,834円
	目的	日常的に運動に親しむ地区住民を増加させ、心身とも健康な地域づくりを推進する。		
	実施内容	参加者に対して活動量計を貸出し、運動に関するプログラムを月一回のペースで提供。同時に活動量計のチェックを実施し、個人にあった健康的な身体活動量を自覚してもらう事業を展開する。この事業を契機に習慣的な運動をツールとした健康づくりに取り組む人が増加することを目指す。		
	実施時期	平成28年7月～平成29年3月		
	参加人数	47人		
	成果	昨年度は、市のモデル事業として指定を受け、市健康増進課の支援のもと事業を展開していたが、今年度は社会体育部会と地域福祉部会との合同で事業運営を試み、安定した事業展開が図られた。		
	評価	今年度で2年目となる本事業は、50人定員の募集ではあるが、活動量計をツールとしての本事業を通して地域住民の健康意識は年々高まりつつある。(健康づくりを通して仲間づくりが促進されている。)		
	今後に向けて	昨年度は、中年(40～60歳)対象のプログラムを実施したため中年の年齢層の参加者が多かった。今年度は認知症予防などのプログラムを取り入れるなどしたため、やや高齢者向けとなった。高齢者の健康づくりに関する事業は他の団体で盛んに行われており、中年対象の事業は皆無に近い。 白石全体の地域課題としては特に中年層(40～60歳)の地域の参加が少ないことが課題となっており「すっきりボディ」「活動量計」をキーワードに、中年層をターゲットとした事業展開も必要ではないかと思われる。		
②	事業名	明治維新150周年記念事業	決算額	423,650円(内 300,000円は特別加算交 付金)
	目的	明治維新に係る歴史に対する理解と関心を高め、もって郷土愛を育み、地域の連帯感や絆を深める。		
	実施内容	講演会の開催、バスツアー開催、広報誌及びホームページにコラム掲載。		
	実施時期	平成28年4月～平成29年3月		
	参加人数	55.5人(平均参加者数)		
	成果	講演会・バスツアー、広報誌へのコラム掲載により幕末、明治維新の山口市で行動・活躍した人物等詳しく知ることができた。 平成26年度に事業を開始してから今年度末までで、講演の参加登録者数は254名となった。		
	評価	講演会・バスツアー共に好評であった。 今後も、明治維新に関わった人物や場所を発掘し、山口市、白石地区民に理解していただく必要性を感じる。		
	今後に向けて	講演会の開催やコラム掲載については引続き実施し(参加者の意見・質問に答える時間も設ける)、バスツアーも来年度も実施したい。 白石地区内における明治維新の史跡マップを完成し、配布の準備をする。 次年度が区切りの5年目となる。		

事業名	ふるさとまつり参加促進事業	決算額	171,032円
③	目的	子どもからお年寄りまで家族ぐるみで地域の祭に参加していただき、地域住民同士の繋がりを深める。	
実施内容	<p>【ほたるまつり】今年初めて「ほたる鑑賞week」において、赤レンガ前広場にお茶席(みずき会主催)と、無料休憩所を設置した。</p> <p>【祇園祭】御神輿の参加者を対象にサラシの巻き方教室、終了後には直会を開催した。</p> <p>【山口セタちょうちんまつり】一の坂沿いにちょうちんツリー43本にちょうちん880張の飾りつけ・点灯を行った。ほたる広場周辺のちょうちんツリーには、子供たちがそれぞれの願いを短冊に書いて飾り付けた。</p>		
実施時期	平成28年5月28日、7月20日・27日、8月6日・7日		
参加人数	459人		
成果	<p>【ほたるまつり】多数の来場者に利用していただき大好評であった。参加者150人。</p> <p>【祇園祭】参加者116人。</p> <p>【山口セタちょうちんまつり】参加者193人。</p>		
評価	<p>去年は「ちょうちんまつり」に初参加、今年は「ほたるまつり」に初参加するなど、活動の場が広がり、本事業の3本柱ができた。</p>		
今後に向けて	<p>町内会方の参加者が少なく(特にちょうちんまつり:4町内会8名)協力意欲の高揚が図れなかった。今後については、町内会連合会を通じて、町内会長に協力を求めるとともに、早期(5月)に参加募集をする。</p> <p>また、より多くの地域住民(とりわけ子育て世代と子供たち)が参加していただけるような楽しい企画を検討し、実施する。</p>		